②　令和８／９年の１人当たり消費量（精米）（推計値）に令和８年の人口（推計値）を乗じたものに令和８／９年のインバウンド需要量（推計値）を加えて需要見通し（精米ベース）を算出

		令和８／９年	
		下位値	上位値
令和８／９年１人当たり消費量	①	49.9精米kg／人	50.7精米kg／人
令和８年人口（推計値）	②	122,450千人	122,450千人
令和８／９年消費量	③＝①×②	610.5万精米トン	621.2万精米トン
令和８／９年インバウンド需要量（推計値）	④	9.1万精米トン	9.1万精米トン
令和８／９年需要見通し（精米）	⑤＝③＋④	619.6万精米トン	630.3万精米トン

注１：令和８／９年１人当たり消費量の下位値には、①で算出した１人当たり消費量（精米）（推計値）の直近５年平均値、上位値には、①で算出した１人当たり消費量（精米）（推計値）の直近５年最大値の値。

注２：令和８年人口（推計値）は、「人口推計（総務省、令和８年３月公表）」の総人口（令和７年10月１日現在）に、「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所、令和５年４月公表）」の令和７年10月１日から令和８年10月１日までの総人口（出生中位・死亡中位推計）の減少率を乗じて算出した値。

注３：令和８／９年インバウンド需要量（推計値）は、「政府目標（2030年訪日外国人旅行者数6,000万人）に向かって直線的に増加すると仮定して推計した訪日客数」に、「訪日客１人当たりの平均泊数（令和７／８年値）」及び「１人１泊あたりの消費量（令和７年度に行った訪日客へのアンケート等による調査結果等に基づく推計値）」を乗じて算出した値。

③　精米歩留りの変動を考慮し、需要見通し（玄米ベース）を算出

精米歩留り	
３年産	90.3%
４年産	90.0%
５年産	88.6%
６年産	89.2%
７年産	88.8%
５年平均	89.4%

注：精米歩留りは、「精米歩留りの状況調査（令和８年６月末時点）」の値である。

		令和８／９年	
		下位値	上位値
令和８／９年需要見通し（精米）	①	619.6万精米トン	630.3万精米トン
令和８年産精米歩留り（見込み）	②[注]	89.4%	88.6%
令和８／９年需要見通し（玄米）	③＝①÷②	693.2万玄米トン	711.4万玄米トン

注：令和８年産精米歩留り（見込み）の下位値には、直近５年平均の値、上位値には、直近５年最小値の値を用いる。

表３　令和８／９年の需要見通し（推計値）

令和８／９年	玄米ベース	693万玄米トン～711万玄米トン
	精米ベース	620万精米トン～630万精米トン

３　令和８年産主食用米等の生産量の見通し（推計値）

令和８年産主食用米等の生産量の見通し（玄米ベース）は、令和８年３月の基本指針で設定した711万玄米トンです（令和８年産主食用等の生産量は、作柄等により上下します。）。

生産量の見通し（精米ベース）は、精米歩留りの変動を考慮し、生産量の見通し（玄米ベース）に、想定される精米歩留りの直近５年最小値及び直近５年平均値を乗じて算出します。

結果は、表４のとおりとなります。

表４　令和８年産主食用米等の生産量の見通し（推計値）

令和８年産	玄米ベース	711万玄米トン
	精米ベース	630万精米トン～635万精米トン

４　令和８／９年の需給見通し

令和８／９年の需給見通しは、表５のとおりです。

【玄米ベース】

⑴　供給量

①　令和８年６月末の民間在庫量（速報値）は、243万玄米トンです。

②　令和８年産主食用米等の生産量は、令和８年３月の基本指針で設定した711万玄米トンです（令和８年産主食用等の生産量は、作柄等により上下します。）。

③　この結果、令和８／９年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、954万玄米トンとなります。

⑵　需要量

令和８／９年の主食用米等の需要量の見通しは、693万玄米トンから711万玄米トンです。

⑶　令和９年６月末の民間在庫量

令和９年６月末の民間在庫量は、⑴の供給量及び⑵の需要量から算出して、242万玄米トンから260万玄米トンと見通されます。

【精米ベース】

⑴　供給量

①　令和８年６月末の民間在庫量（速報値）は、216万精米トンです。

②　令和８年産主食用米等の生産量は、令和８年３月の基本指針で設定した630万精米トンから635万精米トンです（令和８年産主食用等の生産量は、作柄等により上下します。）。

③　この結果、令和８／９年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、846万精米トンから851万精米トンとなります。

⑵　需要量

令和８／９年の主食用米等の需要量の見通しは、620万精米トンから630万精米トンです。

⑶　令和９年６月末の民間在庫量

令和９年６月末の民間在庫量は、⑴の供給量及び⑵の需要量から算出して、215万精米トンから231万精米トンと見通されます。